

組合員のみなさまへ

地域とともに歩み、共生するJAをめざして



JA東とくしま(東とくしま農業協同組合)は、徳島県の東部に位置し、平成11年4月1日に1市4町(小松島市、勝浦町、上勝町、那賀川町、羽ノ浦町)の4JA(JA小松島市、JA勝浦郡、JA阿波那賀川町、JA羽ノ浦町)が合併し誕生しました。現在は2市2町にまたがる大規模JAとして、管内に10支所1事業所を構え「みはらしの丘あいさい広場」をはじめとする産直市を3店舗、また農業資材の専門店「JAグリーン」を2店舗など、組合員のみなさまの負託に応えられるよう、スケールメリットを活かした事業展開を行っています。

JAの事業内容

営農

農産物の生産から流通までを指導・援助し、組合員のみなさまの農家経営のサポートをおこなっています。

販売

組合員のみなさまが生産された農産物の集出荷や販売、また産直市では新鮮な農産物を直接地域の方々に提供しています。

購買

農業に必要な肥料や農薬、飼料、生産資材、農業機械などを取り扱っています。

加工

特産物を加工し、付加価値を付けて販売しています。JA東とくしまでは香酸柑橘類の加工が盛んです。

利用

育苗センター、ライスセンターなど個人では設置が難しい施設を共同で使っていただけるよう提供しています。

信用

貯金、融資、為替業務などのいわゆる銀行業務を行っています。

共済

相互扶助の理念に基づき「ひと・いえ・くるま」の総合保障を行うことにより、日常生活のうえで必要とされるさまざまな保障やニーズにお応えしています。



JA東とくしまの沿革

平成11年	4月	JA小松島市、JA勝浦郡、JA阿波那賀川町、JA羽ノ浦町の4JAが合併し、JA東とくしま(東とくしま農業協同組合)が設立
平成13年	3月	阿南市那賀川町に産直市とれとれ市公方オープン
平成15年	7月	小松島の給油所を小松島セルフガソリンスタンドとしてリニューアルオープン
平成18年	3月	小松島市立江町に大型の産直市みはらしの丘あいさい広場オープン
平成18年	8月	大型精米機を導入
平成18年	12月	勝浦の給油所を勝浦セルフガソリンスタンドとしてリニューアルオープン
平成19年	12月	みはらしの丘あいさい広場に集出荷場を併設
平成20年	4月	和田島の給油所を和田島セルフガソリンスタンドとしてリニューアルオープン
平成21年	3月	勝浦郡上勝町に香酸柑橘の大型搾汁施設を建設
平成21年	3月	米の消費拡大に向けた米粉の大型製造機を導入
平成21年	7月	米、米粉の消費拡大に向けた拠点施設こめっ娘工房完成
平成22年	2月	米粉宣伝活動用クッキングカー「徳島こめっ娘あいさい号」導入
平成22年	4月	勝浦郡上勝町の上勝給油所を改装
平成22年	4月	産直市とれとれ市公方の店内を改装・拡大し、大型にリニューアルオープン
平成22年	5月	勝浦郡勝浦町の産直市によってネ市を大型産直市としてリニューアルオープン
平成23年	1月	CSR活動の一環として、とくしま協働の森づくり事業パートナーシップ協定を締結、二酸化炭素排出量の削減に取り組む
平成23年	4月	燃料事業を株式会社JA東とくしまサービスとして子会社化
平成27年	5月	物流センターを竣工、物流業務の外部委託をスタート
平成27年	5月	農業資材の専門店JAグリーン中央店・勝浦店をオープン
平成27年	8月	JA独自による米の全量買取販売をスタート
平成28年	6月	地域で中心的に活躍される農業者を営農支援アドバイザーとして任命
平成28年	8月	胚芽白米のオリジナルブランドあいさい黄金米(こがねまい)の販売開始
平成29年	2月	オーガニックエコフェスタ2017に主催者として参加、機能性を重視した農産物への取り組みを強化
平成29年	4月	水田の維持管理を目的に生産者とともに農地所有適格法人ほのか株式会社を設立
平成29年	4月	管内の米を使ったオリジナルブランド純米酒あいさい夢物語の販売開始
平成29年	10月	中山間地域を中心に農業者確保に向けた農作業無料職業紹介所を新設
平成30年	1月	オリジナル純米吟醸酒あいさい黄金酒(こがねしゅ)の販売開始
平成30年	4月	産直市みはらしの丘あいさい広場、地産地消レストランやベーカリーを併設した大型産直施設としてリニューアルオープン
平成30年	5月	上勝の搾汁施設における衛生管理と商品の安全性が認められISO22000認証を取得



営農

営農指導員と経済渉外員による渉外体制を強化

地域別・品目別に専属の営農指導員と経済渉外員を設置。現場へ出向く体制を強化することにより、指導力の向上をはかっています。

営農支援アドバイザーを任命、営農指導事業と連携

地域で中心となって活躍されている農業者の方を営農支援アドバイザーとして任命し、営農指導員や経済渉外員との連携を強化することにより、これまで以上に地域に密着した営農指導をはかっています。

農作業支援無料職業紹介所を新設

農家の高齢化が進むなか、農家と求職者のマッチングの手伝いをする事により、中山間地域での農業従事者の確保につとめています。

機能性を重視した農産物の生産・販売

農産物の価値が従来の「見た目」から「中身」へと変わりつつあるなか、栄養価を多く含んだ高品質な農産物づくりを推奨しています。

地域農業の活性化と農業振興

耕作放棄地を減らし、水田の維持管理を積極的に行うことを目的とした農業法人を担い手とJA両者によって設立し、農業振興による地域の活性化をはかっています。

JA東とくしまは自己改革に取り組んでいます!

JA東とくしまは、これまで組合員のみなさまや地域の声を第一に様々な自己改革に取り組んできました。これからも「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向け、さらなる自己改革に挑戦します!

購買

物流センターを竣工、配送業務を外部委託

担当職員による生産資材の戸別配送を外部委託し、配送業者による直送体制へと移行しました。それに伴い費用の削減と余剰在庫の見直しをはかっています。

農業資材専門店「JAグリーン」オープン

生産資材の戸別配送を外部委託することに伴い、これまで各支所にあった購買店舗を集約、再構築し、新たに農業資材の専門店「JAグリーン」を2店舗オープンいたしました。営業時間、商品数、また価格等、これまで以上のサービスをお届けしています。

燃料事業を子会社化

「株式会社JA東とくしまサービス」を設立し、ガソリンスタンドやガス事業を子会社へと移すことにより、さらなる組合員サービスの向上をはかっています。

販売

大型の搾汁施設を設置

特産品であるゆず、ゆこう、すだち等の香酸柑橘類の原料を、それぞれ果汁酢にし、販売しています。またオリジナル商品の「いりどりぼん酢」や「すし酢」などにも加工、販売することにより、ブランド力の強化と農業所得の増大をはかっています。

熟成みかん、香酸柑橘類の輸出に向けた取り組み

管内で採れたみかんや香酸柑橘類を国内だけでなく、海外へも輸出することを視野に入れた取り組みをおこなっています。

米の消費拡大に向けた取り組みを強化

大型の精米機と米粉製造機を導入し、米を米粉として販売しています。拠点施設「こめっ娘工房」やPR用のキッチンカー「徳島こめっ娘あいさい号」を導入し、米粉による米の消費拡大に取り組んでいます。

JA独自による米の全量買取販売をスタート

JA独自による米の全量買取販売を行い農業所得の増大につとめるとともに、胚芽白米や酒造好適米「山田錦」を使った酒の独自ブランド商品の販売をはじめめるなど、米の消費拡大に積極的に取り組んでいます。

大型産直市を中心とした地産地消への取り組み

小松島市立江町に大型の産直市「みはらしの丘あいさい広場」をオープン、また勝浦町の「よってネ市」、阿南市那賀川町の「とれとれ市公方」も大きくリニューアルすることにより、産直市を中心とした地産地消に取り組んでいます。

また「みはらしの丘あいさい広場」は産直市を中心にレストランやフードコート、ベーカリーを併設し、誰もが食と農と自然を体験できる総合施設として平成30年4月にリニューアルオープンいたしました。

